

TOKYO 書店人

東京組合報

2018 VOL.236

活字文化の担い手としての書店の存続を

第42回通常総代会開催

東京都書店商業組合第42回通常総代会は、5月22日(火)、ホテルメトロポリタンエドモントにて、総代本人及び委任状出席者計44名、理事、監事、来賓の出席のもと、開催された。

柴崎副理事長が開会の辞を述べたのち、船坂理事長は、挨拶で、ますます厳しさを増す経営環境の中で、活字文化の担い手としての書店の存続のために、日書連が昨年行った経営実態調査に基づき、出版社、取次などの協力を得て、正味30%を得る方策について協議を始めるが、これによって全国の書店が少しでも頑張る道を示したいと、抱負を述べた。

東京都書店商業組合 第42回通常総代会



第42回通常総代会 柴崎副理事長

議長には、新宿 芳進堂 武田初男氏を選任して議事に入り、第1号議案「29年度事業報告」を各担当副理事長、常務理事、委員長が行った。指導・調査委員会の報告で、小林担当副理事長から、長

く懸案であった組合ホームページの作成に着手し、30年度には開設が見込まれることが報告された。引き続き、第2号議案「29年度決算報告」がなされた。この年度より、受注事業収益の料率が1000分の4に改定されたことにより約150万円の増収になったが、売上高、電子サイト手数料、賦課金の減収等で、事業損失金額は前期比57万円増となり、減収対策引当金を充てて、最終利益は7万5千円となったことが報告された。監事の監査報告でも、今後の収益構造の見直しが提言された。第1号議案から第3号議案までは原案通り承認、第4号議案「30年度事業計画」では、支部単位からエリア単位での活動への強化、全員参加型の増売運動への取り組みなどが提案された。第4号議案から第8号議案まで、すべて可決された。

議長退席の後、支部功労者として目黒・世田谷支部前支部長越石武史氏を表彰した。来賓挨拶は、東京都中小企業団体中央会の青木裕振興課長からご祝辞をいただき、小林副理事長の閉会の辞で終了した。総代会終了後に引き続き開催された懇親会は、船坂理事長の挨拶、渡部常務理事の乾杯で始まり、和やかな懇談の時を過ごした。

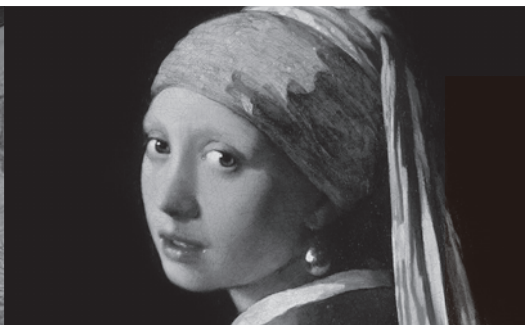
主な内容

- 第42回通常総代会 1～5
 - 理事長挨拶/決議事項
 - 平成29年度事業報告・平成30年度事業計画
 - 表彰 支部功労、来賓祝辞/

- ホームページで広報したい組合史 6
- 新しい増売システムにご協力を 12
- 青年部の今と課題 13
- 理事会議事録、委員会発信、編集室 14～16



【第1巻】ヴィーナス 豊饒なる愛と美の女神



【第2巻】肖像画 姿とこころ



それは、

【第3巻】風景画 自然との対話の共感



【第4巻】宗教画 聖なるものへの祈り



いわば、名画を巡る旅。



【第5巻】スード かぐわしき夢



【第6巻】静物画 静かなものへの愛着



【第7巻】風俗画 日常へのまなざし



【第8巻】歴史画 人間のものがたり



【第9巻】神話と物語 創造の玉手箱



【第10巻】象徴と寓意 見えないもののメッセージ

世界の名画を「テーマ別」に収録した初の美術全集！

ART GALLERY

テーマで見る世界の名画

全10巻 好評発売中

(各)本体5,000円

監修 青柳正規 (前文化庁長官／東京大学名誉教授／山梨県立美術館館長) 木島俊介 (ポーラ美術館館長／Bunkamura ザ・ミュージアムプロデューサー) 中野京子 (ドイツ文学者／美術評論家)

最新情報、詳細などは公式サイトをご覧ください。 <http://www.shueisha.co.jp/artgallery/>
各巻責任編集者の解説が動画でご覧いただけます。

※表示価格は本体価格です。別途、消費税が加算されます。

正味30%を得るための協議がスタート

理事長 船坂良雄



私ども本屋は、書籍・雑誌の売上が非常に落ち込み、また経営者の高齢化や後継者不足による問題を抱えており、全国の書店数は、現在1万2500店余りになりました。出版物の販売額は1996年がピークで、2兆6500億円でしたが、昨年度は、1兆3700億円となり、特に雑誌はピークの97年では1兆5600億円でしたが、6500億円となり、半減以下であります。書籍・雑誌は、ネット、スマホ、DMマガジンなど読み放題サービスの普及、また、他の趣味の多様化で、時間とお金の奪い合いになっております。

以前は、郊外型書店の出店、都市部ではビルの賃料の低下により、300坪、500坪の出店が続きました。2000年には、日本の風土には合わないと言われたネット販売アマゾンが今では定着しており、書店の経営はますます苦しくなっています。日本では、再販制度で価格安定を守り、委託販売により出版文化を支えています。それにより高額の特刊書を置くことができます。その制度により販売リスクが少なく済む一方、平均的な粗利益率は22%と言われ、ほかの業種と比べても低くなっています。書籍・雑誌が売れ、支払い率も70%でよかった時期もありましたが、現在では100%支払いになっています。出版物の市場が縮小

し、今のビジネスモデルが成り立たなくなっており、家賃・人件費など、経費の割合が非常に高くなり、経営を圧迫しています。私ども書店経営者は、出版文化を守り、世界の大国に引けをとらない1300年続く歴史ある文字文化を守り、高い教育水準を目指し、活字文化を支えていると自負しております。

日書連は、全国小売書店経営実態調査を行い、これに基づき、昨年、出版社、取次各社を訪問し書店の現状を説明して来しました。今年は、各業界の実務者の方々に出席していただき、書店が正味30%以上取れるにはどうしたらよいか検討するための実務者会議をスタートさせます。これは今までなかったことです。実務者会議で早く方向を示すことができれば、全国の書店ももう少し頑張れるのではないかと思います。

万引問題については、昨年万引防止出版対策本部を設立しました。これは、日書連、書協、雑協、取協、日本出版インフラセンター、日本医書出版協会、日本図書普及の協力の下、書店経営に直接影響する万引問題を書店だけに任せず、業界全体で対応して行くことを目的としています。私は本部長として現在全国万引犯罪防止機構の協力を得て渋谷プロジェクトを進めています。消費者団体、学者、弁護士の見解を聞き、個人情報保護の問題をクリアし、売上を守るために現在活動中です。街の本屋は日本の教育文化を支えており、その拠点として一日でも長く経営できるような頑張つていきますので、組合員の方々の協力を今後ともお願いします。

(理事長挨拶要旨)

東京都書店商業組合 第42回通常総代会決議事項

開催日時	平成30年5月22日(火) 14時00分	
開催場所	東京都千代田区飯田橋3-10-8「ホテルメトロポリタンエドモント」	1階 クリスタルホール
第1号議案	平成29年度事業報告承認の件	満場異議なく原案どおり承認
第2号議案	平成29年度財産目録・貸借対照表及び損益計算書承認の件	同 上
第3号議案	平成29年度剰余金処分案決定の件	満場異議なく原案どおり可決決定
第4号議案	平成30年度事業計画決定の件	同 上
第5号議案	平成30年度収支予算並びに経費の賦課及び徴収方法決定の件	同 上
第6号議案	平成30年度における借入金残高の最高限度決定の件	満場異議なく、原案どおり8,000万円と可決決定
第7号議案	役員報酬決定の件	満場異議なく、原案どおり本年度は支給しないことに可決決定
第8号議案	平成30年度加入金額決定の件	満場異議なく、原案どおり1口当たり1,500円と可決決定

第42回 通常総代会承認

平成29年度事業報告・平成30年度事業計画

事業報告―第1号議案

柴崎副理事長【再販・発売日・取引改善委員会】

再販売価格維持契約及び雑誌発売日協約の趣旨徹底のため、首都圏雑誌発売日励行委員会に出席、出版社、取次所属の委員と協力し、是正を行ってきた。首都圏においては発売日が守られていない地区（店舗）もあるが、都内における発売日違反は少なくなっている。合併号による発売日問題は、合併号を発刊して次号を休刊にするのではなく、通常の発売日とは関係のない日を発売日としたためお客様や店頭が混乱した。書店の売り上げ確保のためにも合併号を無くするように働きかけて行く。夏季統一休暇は8月13～15日。土曜休配日は大幅に増加し、6、7、9、10、11、12、1、2、3月に13回実施。「送品・返品同日精算問題」は平成26年4月1日から日販は3営業日前、トーハンは2営業日前まで入帳することになり一応の成果を得た。引き続き着荷、開荷、読み取りで入帳日をコントロールされないよう注視して行く。雑誌付録

問題は一貫して「完成品での送品」を目指しており一部では実施されているが、ほとんどの付録は別添のままである。また、付録現物には「何の付録」であるか、雑誌本体の表1には「どんな付録」が付いているのかを明記しなくてはならないはずだが、小さかったり、書かれていなかったりする。本来、付録は本誌の内容を補完するものであるはずが、通販や商品のカタログが別冊付録として付いていることも多い。これらを付録とする場合、取次の仕入れ担当に相談する事になっている。これも今後、L表示問題等と合わせ、日書連を通じ改善を目指して行く。

【共同受注・デジタル委員会】

書店経営は店頭の売り上げ減少により、非常に厳しいものとなっている。書店経営を何とか継続して行くためには公共図書館・学校図書館への納品は増々重要な仕事になってきている。現在17支部で官公需を受注しているが、支部により経営状態に差があり、有力な支部では独自の工夫をして事業を発展させているが、そうでない支部では取次会社依存した

ままのところもある。最近では運送会社の人件費高騰による運賃の値上げ、人手不足による作業工賃の値上げ等で仕入れ価格が上昇し「官公需共同受注」の採算を悪化させている。官公需を受注した支部間で情報交換をし、先進支部の事例を参考にしながら「官公需共同受注」を継続して行きたい。デジタル委員会の「BOOKSMART」事業は現在停滞しており、「定額読み放題サービス」を2016年から始めたが、他の事業者との競争の中で会員獲得が進んでいない。また、無料でコミックを読めるアプリやサービスが拡大してきているので「BOOKSMART」事業が現在のままで継続できるのか疑問である。書店業界が縮小していく中で書店と連動した企画も成果の少ないものとなってしまっていて、新たな方向性を求めているかねばならない。IT技術の進歩はめざましく、特に携帯電話の発達は驚くほどスマートフォンが発売されてからは、パソコンに代わりEC取引の主役になってしまった。今後もこの流れは加速され、参入企業もますます増えてくると予想される。そうした社会の中で、書店としてデジタル商圏の一角に場所を確保して行きたい。

井之上理事【事業・増売委員会】

出版社広告入りポリ袋を54万枚制作し、本体価格20円で販売し完売した。広告協賛については、依然として厳しい状態が続いているが、出版社を訪問する等企画の継続に努力している。読者謝恩図書カードは、17社の協賛を得て、170000枚製作して完売し、売上高は8236万円、広告収入は1106万円。NHK出版等の出版物販売は売上高1761万円。事前予約、在庫の確認、取り置きも可で、ルート・サービスによる配送も行っている（送料本体価格590円、本体価格合計1万5000円以上の注文で送料無料）。増売協力出版社は、河出書房新社等14社。第21回春の書店くじは、参加40店で81500枚、第44回読書週間書店くじは、参加45店で91500枚。第27回神保町ブックフェスティバル売上高は7300万円（を後援し、青年部がワゴン2台で出展。第八回書店大商談会（出展240社248ブース、来場書店710名、商談成立3560件、7971万7839円）を後援した。「築地本マルシェ」（来場者数は約4000名）を後援、青年部を中心としてレジでの販売を担当した。

矢幡常務理事【組織委員会】支部

及びエリアの組織改革の研究並びに活性化の推進、エリアでの活動（親睦等）を実施した。各支部とも高齢化、後継者不足、売上減少等により支部員が減少し、また支部会や事業に参加する人も少なく、支部単体での活動がますます難しくなってきた。エリアでの活動を更に広げていく必要がある。賦課金見直し問題では、加入促進による組織率アップを前提に検討した。また、各取次会社から寄せられた出店情報を理事会に提供し、該当支部にその都度加入促進を依頼した。チェーン店の出店が多い中、チェーン店も考慮した加入促進パンフレットの作成が急務となっている。組合員名簿については、役員等の改選もあったことから、「組合員名簿」を全組合員に配布した。

小林副理事長【指導・調査委員会】

書店研修会は、平成29年11月17日「丸善ジュンク堂書店の化石店舗対策」をテーマに、株式会社丸善ジュンク堂書店会長工藤恭孝氏を講師に迎えて開催し、組合員36名が出席。「TOKYO書店人」234号（第41回総代会号）は、再任された理事長の挨拶、正・副理事長の新たな所信、退任された理事・監事からのメッセージを掲載した。235号（30年新

年号）は、「書店経営研修会報告」、

「第八回書店大商談会報告」、「青年部活動報告」などを掲載し、発行した。月報は、今年度「正副理事長から一言」というコラムを新設、折々の話題に即した忌憚のない意見を掲載した。「通常総代会速報」、「東京都最低賃金改正」、「読者謝恩図書カード協賛版元増売企画」の記事等、218号〜227号をFAX配信した。また、長らく懸案であったHP作成作業に取り組み、ミツバ総合印刷の下請け会社に基本設計を依頼、ポータルサイトの成案を得た。組合の基本情報、活動報告、ニュースなどを中心に掲載する予定で、スタートは次年度に持ち越された。万引き問題は、「第8回万引き追放SUMMERキャンペーン」（8月2日）、「第4回万引き防止シンポジウム」（9月19日）、「第13回東京万引き防止官民合同会議」（11月29日）に出席。最近の万引き犯罪概況説明、万引き防止音声広報の作成、万引き未然防止対策プロジェクトの実施結果の報告、ドラッグストア業界における大量万引き防犯情報共有についての報告が行われた。また、出前型「万引き防止のための防犯責任者養成講座」も3か所で実施され、合計4名が参加した。

【厚生・倫理委員会】保険代理店業

務の給付は、火災共済6件、252万円、自動車総合補償共済9件、461万円。新年懇親会は1月16日、東京ドームホテルにて開催し、出版社・取次・業界関係130名、組合員72名、計202名が参加した。5月19日、通常総代会の終了後支部功労者の表彰（2名）を行った。出版物販売倫理については、東京都諸問候補図書類に関する打合せ会、出版倫理協議会に出席して意見交換を行った。「東京都青少年の健全な育成に関する条例」では、指定図書類・表示地書類の販売等に制限を設け、その陳列方法については、「区分陳列」するように定めている。従わない場合には30万円以下の罰金が課せられるので、引き続き注意して区分陳列に努めてもらいたい。

事業計画―第4号議案

中小書店にとっては厳しい状況が続いており、雑誌では、「読み放題サービス」によるデジタル版の影響により落ち込みが続いていたが、コミックスにおいても同様のサービスが普及し、電子版が紙版を上回る結果となった。中小書店では「雑誌」「コミックス」「文庫」の販売シェアが高いため、厳しい書店経営がより一層

深刻化している。こうした状況の中、東京組合では事業・増売委員会を中心に休業店を除いた全員参加型の新たな増売運動に取り組み、出版社にとっても実売の上がる増売企画を実施して行きます。また、長年休眠状態にあったホームページをリニューアルし、青年部のサイトともリンクすることにより、読者を書店に誘導するシステムの構築を目指して行きます。組合員数が大幅に落ち込み、現在の19支部体制の維持、支部単体での活動が困難になっていく中、エリア活動の重要性が高まっている。支部間の垣根、利害の壁を乗り越えて、組合全体の活性化のためにスクラムを組んで前進して行きたい。出版社、取次会社、書店が一体となって出版業界の危機に対する認識を共有し、厳しい現状を何とか打開するための方向性を見いだす年にして行きたいので、より一層のご理解、ご協力を願いたい。



(第2号議案) 平成29年度貸借対照表・損益計算書及び(第5号議案) 平成30年度収支予算

貸借対照表

(単位 円)

資産の部		負債の部		純資産の部	
流動資産	25,242,919	流動負債	22,750,192	出資金	3,966,000
固定資産	91,078,001	固定負債	85,502,673	資本剰余金	3,525,713
				利益剰余金	576,342
		負債合計	108,252,865	純資産合計	8,068,055
資産合計	116,320,920	負債及び純資産合計			116,320,920

損益計算書及び収支予算

(単位 円)

支出の部	29 年度決算	30 年度予算	収入の部	29 年度決算	30 年度予算
事業費用	121,965,594	135,841,000	事業収益	137,282,905	149,860,000
一般管理費	49,365,724	47,542,000	賦課金等収入	17,764,200	17,265,600
事業外費用	362,455	666,000	事業外収益	11,819,094	11,423,400
税引前当期純利益金額	2,075,110	—	特別利益	6,902,684	6,000,000
予備費	—	500,000			
合計	173,768,883	184,549,000	合計	173,768,883	184,549,000

表彰を受けた方々

第45回 支部功労者表彰

(1名)

氏名	地区	書店名
越石武史	世田谷区	(株)甲文堂書店

第42回通常総代会支部別出席内訳

支部名	総定数	出席数			出席率
		本人	委任状	計	
	人	人	人	人	%
千代田支部	7	4	1	5	71
中央支部	2	2	0	2	100
港・渋谷支部	4	3	1	4	100
新宿支部	3	2	1	3	100
文京支部	2	0	1	1	50
豊島・練馬支部	4	1	0	1	25
板橋支部	3	2	1	3	100
北支部	2	2	0	2	100
品川支部	2	0	1	1	50
大田支部	3	0	0	0	0
目黒・世田谷支部	6	3	2	5	83
中野・杉並支部	4	1	1	2	50
台東支部	2	2	0	2	100
荒川・足立支部	3	1	1	2	66
墨田・葛飾支部	3	1	2	3	100
江東・江戸川支部	4	4	0	4	100
武蔵野支部	2	0	1	1	50
立川支部	4	0	2	2	50
八王子支部	2	0	1	1	50
計	62人	28人	16人	44人	70%

来賓祝辞

東京都中小企業団体中央会

青木 裕



東京都書店商業
組合第42回通常総
代会代会を終了さ
れました事、お喜
び申し上げます。また、29年度の事
業がつつがなく遂行され無事決算を
迎えられました事は、理事長はじめ
役員の皆様方のご協力の賜物であり
心より敬意を表します。

現在、停滞する経済状況の中で特
に小売業は厳しい経営を強いられ営
業しているのが現状です。柴崎副理
事長の言葉にもありました通り、何
事も嘆いていては始まらない、後も
振り返らず前を向いて進んで行き
たいと思います。

更に、中小企業に於いては、世代
交代という避けては通れない事柄が
待ち受けており、今は過渡期に向か
っています。そのような状況中、大
企業に比べて中小企業は税制面での
補助に差があると言う経営者の声を
聞きます。この声に対して、全国中
央会では国に対して税制面の改善を
要望してまいりました。結果、今年
4月に改定の実現に至りました。複
雑で難しい内容になっておりますが、

中小企業にとりましては、今までに
なく大分改善され使いやすい内容と
なっております。改定された内容に
ついては、勉強会やセミナーの開催
を予定しております。是非参加をお
願い致します。

組合ホームページをリニューアル
されたとの報告がありました。中
央会では「団体向課題解決プロジェ
クト支援事業」という制度がありま
す。研修会やセミナーに対して、講
師や専門家の派遣を行っております
のでご利用下さい。

最後に、東京都書店商業組合の
益々の発展と更なる事業の進展を祈
念申し上げご挨拶とさせていただきます。
本日はありがとうございます。

矢幡秀治 組織委員長



矢幡秀治 組織委員長



井之上健浩 事業・増売委員長



支部功労者表彰 (株)甲文堂書店 越石武史氏



総代会風景



総代会後の懇親会

ホームページで広報したい組合史

指導・調査委員 小川 頼之

指導・調査委員？ 東京組合のホームページ（以下HPとします）作成がこの委員会に属しているのに疑問を感じる方は多いのではないのでしょうか？ 少なくとも私は大いに違和感を感じていました。

東京組合HPはリリースに向けて準備中です。既にデータの準備は完了しています。私がどうしても入れなければならぬと考えた、組合の歴史を説明する文章が出来上がらない為に予定より少々遅れてしまったのです。

書店商業組合は「中小企業等協同組合法」と、その運用を取り決めた「中小企業団体の組織に関する法律」に基づいて運営されている業界を代表する都道府県で唯一の団体です。現在も法的に都道府県に二つ以上の存在は許されていません。つまりは書店が政治・行政に要望する場合に最大の力を発揮することが出来る組織と言える、指導的団体です。この事はHPでも大いにアピールしていきます。

中小企業等協同組合法の第一条（法律の目的）は次の通りです。

「この法律は、中小規模の商業、工

業、鉱業、運送業、サービス業その他の事業を行う者、勤労者その他の者が相互扶助の精神に基づき協同して事業を行うために必要な組織について定め、これらの者の公正な経済活動の機会を確保し、もってその自主的な経済活動を促進し、且つ、その経済的地位の向上を図ることを目的とする。」

実に勇気が出る条文です。中小規模の事業者には、経済的地位の向上を図ってくれているのです。

この法律は昭和二十四年五月に制定されたものです。昭和二十四年と言えばサンフランシスコ講和条約前の連合国軍占領下の日本です。ちなみに「労働組合法」は昭和二十四年六月の制定で「独占禁止法」が昭和二十二年の制定ですから、その二年後のほぼ同じ時期に「中小企業等協同組合法」と「労働組合法」とが統一して制定されています。当時の占領軍が日本の国力をそぐ目的を持っていたにせよ、企業の独占から個人の意見が同調圧力につぶされて、結局は戦争に至ってしまったという、この時代の方々の命をかけた反省と見識を感じます。実に先駆的で理想主

義的な法律であり、見方によってはこれが戦後の高度成長を支えたとも言える様に思います。

その八年後の昭和三十一年十一月には「中小企業団体の組織に関する法律」が制定され、「商業組合」には伝家の宝刀と言われた、過当競争を排除するために行う調整事業（安定事業）、経営の合理化を遂行する為に必要がある場合に行う調整事業（合理化事業）を行える強力な権限が与えられました。

書店組合は、監督官庁からの勧めもあって昭和五十二年にこの強力な権限を持つ商業組合へ改組しました。

その後の書店組合は大型店の出店を抑制したり、地域毎の出店競争を止めたり、正味引下げ運動をしたりと大活躍することになるのです。若い書店員さんでも必ず実感出来る特に大きな功績は、平成6年から7年にかけてコミックの正味引下げを勝ち取ったことです。今日配本されたコミックの伝票を見てみて下さい。75・8%ですね？ これが78%でないのはこの時代の書店組合のメンバーが、一致団結して献身的な運動をした結果なのです。この他にも、再販廃止反対、雑誌発売日問題について様々な運動を行ってきました。

この時代の書店組合には、ここま

で大きな権限が与えられている以上、当然義務も発生していました。商業組合にはアウトサイダーも含めた新刊書店が地域内にどれだけあるかを調べて台帳を作成することが義務付けられていて、これを基に業界全体の指導、教育、調査研究、情報提供をすることになっていました。

残念ながら、平成十一年十二月小渕内閣の時代にこの強力な権限と義務は撤廃されてしまいました。書店業界全体の指導、教育、調査研究、情報提供の条文は現在でも生きていて、この内の情報提供の機能を今回、指導・調査委員会のHPが担うことになったのです。

最初の話に戻りますが、現在でも「東京都書店商業組合」は東京都の書店業界を代表する唯一の団体で、書店が政治・行政に要望する場合に、最大の力を発揮することが出来る組織と言えます。書店業界全体の指導、教育、調査研究、情報提供が主な事業とされています。この様な公的な仕事をしなければならない以上、アウトサイダーも含めて全書店の協力体制をつくる責任があると思います。今後はこのこともHPを通じて発信していきたい。今後の東京組合HPにご期待下さい。



TOHAN



読解力を養うために

「朝の読書」と うちどく(家読)を ～本をコミュニケーションツールに～

読書は今の子どもたちに必要とされている
“読解力”を養います。

学校での「朝の読書」。

始業前の10分間、みんなで、毎日、

好きな本をただ読むだけの自由な読書活動。

「朝の読書」が千葉県のある二人の高校教諭により

提唱・実践されてから、今年で30年を迎えました。



詳しくは公式サイトで。

トーハン 朝の読書

検索



学校での「朝の読書」で読書が習慣化した
子どもたちを中心に、家庭で実践する新しい
読書運動「うちどく(家読)」。

本をコミュニケーションツールに、読んだ本に
ついて家族で語り合うことで、絆が深まります。

★うちどく(家読)で読みニケーション★

詳しくは公式サイトで。

トーハン うちどく

検索

休日は家族揃って本屋さんへ

〒162-8710

東京都新宿区東五軒町 6-24

株式会社トーハン

朝の読書推進協議会事務局

(トーハン広報室内) PHONE 03-3266-9587

頼りになります！

お問い合わせは、弘正堂・細野まで！！

E-mail ksdou8888@sunny.ocn.ne.jp

客注品、売れ筋本、まとまったご注文等のお問い合わせ等にも迅速に対応！

弘正堂・三和図書2社で、ほとんどのご要望にお応えできます。

新刊案内、売れ筋情報、重版情報を毎日送付していますので、品ぞろえが楽になります。

弘正堂図書販売

小学館・集英社・徳間書店

白泉社・幻冬舎・文藝春秋

朝日新聞・毎日新聞・中央公論

デアゴスティーニ・宝島社・祥伝社

その他、多数

語学学習書、カメラ関連書、児童書等充実

TEL 03-3291-2351

FAX 03-3291-2356

三和図書

KADOKAWA・秋田書店

新潮社・早川書房

NHK・イカロス出版

河出書房新社 その他、多数

文芸書・雑誌・文庫・テキスト

TEL 03-3294-0381

FAX 03-3294-0383



共同配送しています

ぜひ、ご連絡下さい

取扱分野拡大でニーズに応える

医学書から一般書まで
KUWATANI SHOTEN

株式会社 鋤谷書店

<http://www.kuwatani.co.jp/>

～ Web発注サイト『Kni/Ght(ナイト)』へリニューアル！～

保有在庫（約2万点、15万冊）をリアルタイムに検索・注文可能。

これまで以上に使いやすく、また教科書注文にも対応！！

登録申込は下記までご連絡下さい。（<https://eweb.kuwatani.jp/>）

本社

〒114-0002

東京都北区王子 4-9-5

TEL 03-5390-2211(代)

FAX 03-5390-2213

商品センター

〒114-0002

東京都北区王子 4-4-4

TEL 03-5902-5431

FAX 03-5902-5434

神田営業所

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 1-103

東京パークタワープラザ 207・208

TEL 03-3294-3715

FAX 03-3294-3716

お取引先様に 存在を喜んでいただける 出版取次へ。

株式会社大阪屋と栗田出版販売株式会社は
株式会社 大阪屋栗田 - Oak(オーク) 出版流通 - になりました。



Oak出版流通
株式会社 大阪屋栗田

●大阪本社 〒553-0002 大阪市福島区鷺洲 1-11-19 大阪福島セントラルビル 1F・2F
Tel (06) 7638-9161 FAX (06) 7638-9206
●東京本社 〒112-8538 東京都文京区小石川 2-22-2 和順ビル 6F・7F
Tel (03) 3830-2050 FAX (03) 3830-2059

本屋さんのためのPOSレジ **Web-POS** Ver.2

大きい画面で
見やすい!
入力簡単!

21.5インチタッチモニタ

カスタマー
ディスプレイ

お客様に
情報発信!



2段コード・QRも
一発読取り!

ハンディスキャナ

ここがすごい!!

✓ レンタル方式採用で書店様の
経費負担を軽減!

✓ 画面が21.5インチに
大きくなって今までより
もっと見やすく!
使いやすく!

✓ 楽天ポイント
対応済み
導入コストなしで
楽天のポイントシステムを
利用可能!



Oak出版流通
株式会社 大阪屋栗田

お問い合わせは下記の電話番号からご連絡ください。



06-7638-9178

「街の本屋さん」への総合的な営業支援を実現！

Web 検索発注システム

Web・COS

私たちがもっとも大切にしたい「街の本屋さん」。ディーラーヘルプサービス「中小書店総合支援策」を、これからも皆様へ積極的に提案してまいります。

 **Books SALE ON COMMISSION**

株式会社 中央社
<http://www.chuocha.co.jp>

〒174-8737
東京都板橋区東坂下1-18-15
TEL 03-3558-1101(番号案内)

株式会社 **八木書店**

<https://company.books-yagi.co.jp/>

〒101-0052
千代田区神田小川町3-8
TEL 03-3291-2965
FAX 03-3291-6300



新刊取次

- ◆ 人文、歴史、仏教書を中心に
約340社の出版社と取引
- ◆ 迅速な調達
- ◆ 新規出版社との口座開設に注力

バーゲンブック（アウトレット）卸売

- ◆ 高粗利
- ◆ 豊富なジャンル（約15,000タイトル）
- ◆ 商品セレクト自由
- ◆ ECサイトによる在庫確認・発注可

知名度はなくとも良書を刊行している、いくつかの出版社と取引をしています。読者と本の出会いの場をご提供ください。バーゲンブックも掘り出し物が見つかるかもしれません。是非お取り扱いをお願いいたします。



読みたい本見つかった？
書店のアプリ始めました。



全国 1,000 店舗の在庫がわかる！

ログイン不要・最短 5 秒で
カンタン取寄せ！

本の情報が届く！ 見つかる！



お問い合わせ

ほんらぶアプリ事務局
honlove_customer@nippan.co.jp

日本出版販売株式会社

〒101-8710 東京都千代田区神田駿河台4-3
URL <http://www.nippan.co.jp/>

新しい増売システムにご協力を

事業・増売委員会 委員長 井之上 健浩

事業・増売委員会では、組合員の経営経費の節減や店頭での活性化を目指して活動しています。主な活動内容は、書籍や雑誌の増売施策をはじめ読者謝恩図書カードの製作・販売や出版社広告入りポリ袋の製作・販売などがあります。その他にも、組合員の皆様にとって利益となるような施策が数多くあります。ぜひさまざまな施策への積極的な参加をお願いします。

近年は、販売会社から提案される報奨企画や出版社独自の報奨企画まで数多くの施策が店頭を持ち込まれます。それら全てに取り組むことは、現実的に不可能です。どの施策が自店にマッチしているのかを見極める必要があります。施策を選ぶことも大きな作業負担になっていると思います。そこで、当委員会では、理事会で承認された増売企画を組合員の店舗に自動で配本する仕組みを作り上げました。現在の東京組合組合員のうち、実際に店舗を有して店頭販売をしているのが300店舗弱です。その店舗に各3冊ずつ配本すると、東京組合で約1,000冊の増売を

することが可能になります。もちろん追加もできますので、大きな仕掛け販売に繋がることもあります。書店にとっても出版社にとっても、双方に有益な結果を出すことができると考えています。もちろん売れる書籍、雑誌でなければ結果は出ません。報奨金をもらえるから取り組むのではなく、東京の書店だからこそ売れる施策に取り組んでいきます。

せっかく良い施策ができて、書店側に売る姿勢がなければ意味がありません。「ウチは小さい店舗だから売れないよ」とか「1,2冊の発注なんて出版社が相手にしてくれないよ」という声を聞いたことがあります。そんな間違った思い込みは今すぐ捨ててください。我々書店が積極的に売る姿勢や仕入れる姿勢をなくしてしまつたら書店の未来はありません。お客様と近い距離で話ができる小さい店舗だからこそ、売れるものはたくさんあります。100冊仕入れて50冊売る大型店は一見派手に見えても実売率は50%ですし、なにより50冊もの返品が発生します。それよりも、2冊仕入れて2冊完売す

る小さい店舗が50店集まる東京組合のほうが出版社にとっても販売会社にとっても大事であることは言うまでもありません。東京都内に約300店舗を有する日本最大のチェーン店こそが東京組合なのです。この利点を最大限に生かし、それぞれの書店が経営を安定させ、さらには出版業界の発展につながるよう今後も活動していきます。組合員の皆さま、何卒ご協力いただけますようお願いいたします。

戦争中の暮しの記録【保存版】

1969年8月15日発行
本体価格2,200円(税別)
B5判 並製 本文292頁
ISBN 978-4-7660-0103-7

戦争中の暮しの記録



暮しの手帖編

新刊

戦中・戦後の暮しの記録

君と、これから生まれてくる君へ

2018年7月下旬発売

本体価格2,500円(税別)
B5判 並製 本文約300頁
ISBN978-4-7660-0209-6

I章たいせつな人／II章空から恐怖がふってくる／III章何と戦っていたのだろう／IV章ふるさとが戦場に／V章弱気者は守られたか／VI章遠き丘から／VII章未来はどっちに

君と、これから生まれてくる君へ

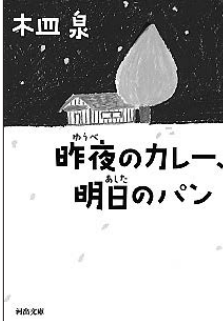
戦中・戦後の暮しの記録



暮しの手帖社

「昨夜のカレー、明日のパン」

本 泉



昨夜のカレー、明日のパン

木 泉 著
河出文庫

本体価格600円(税別)

組合員の店舗に自動で配本される商品

青年部の活動

青年部の今と課題

東京都書店商業組合青年部会長 田中紀光

会長就任からはや一年が経ちました。今回は青年部の店頭活性化委員会と書店再生委員会の取り組みについて報告します。

最初に店頭活性化委員会の取り組みについてですが、青年部はこれまで書籍の報奨企画を行ってきましたが、新たな試みとして今年になって雑誌バックナンバーの報奨企画を実施しています。誠文堂新光社の月刊誌「子供の科学」がその対象誌です。青年部、版元に雑誌バックナンバーの増売にノウハウがなくどうすれば売れるのか、理事会の中でも議論しています。多面展開しているところでは結果がでているようです。12面（バックナンバー1年分）大きく展開して結果がでるのは当然のようですが、今回の対象誌「子供の科学」の特色があまり季節やはやりに左右される内容ではなく、各号がバックナンバーになっても価値が落ちにくい事もあり一定の結果が出ている要因だと思えます。まずは企画に取り組み、その過程の中でよくなるように、また他につなげられないかを考

え調整していくのが今の青年部だと思っています。今後も面白い企画ができるよう努力していきます。

次に、書店再生委員会の取り組みについてです。現在、青年部の会員も店頭の売り上げが大変厳しく今店舗があるお店でも教科書販売や配達等による外商が売り上げの多くを占めているのが現状です。言い換えれば外商先がないお店は、町の書店経営のビジネスモデルの中では書店を維持するのはほぼ不可能だと言えます。現在の書店が求めているのは返品のない自店で獲得した定期に対する報奨金だと考えます。青年部は店頭販売での出来高制の報奨金をこれまで版元に要望してきましたが、今後は雑誌の定期にも報奨金を認めてもらいたい、そのような観点から店頭販売の報奨、定期雑誌に対する報奨の二つを同時平行で実行していきます。今町の書店はかなりの店舗で、配達量に差があるにせよ少なからず配達をしています。先日青年部が「雑誌定期取置き・配達等の協力販売金について」と題するアンケートを行

いしましたが、私のイメージとは大きく異なっていました。週刊誌について約100店の調査で配本の約50%近い数字が定期分（店頭取り置き、配達）でした。今後この数字は版元との交渉でとても役立つデータになります。青年部で小学館にこのデータを示したところ、特に現場の書店員が配達している手間に大変理解がありました。話し合いの結果、今回青年部に一年間、試験的ではありますが「週刊ポスト」、「女性セブン」の2誌に対して販売協力金という形の報奨金を支払ってもらえることになりました。当然小学館は各取次会社と配本、定期、返品データを細かくチェックするとは思いますが、話し合いの中で雑誌に対して町の書店の存在を大きく評価していたと考えています。今回は期限付きの一年間です。一年後小学館にメリットがなければ終了になってしまいます。この2誌については定期数を伸ばす努力と店頭販売で売り伸ばす努力が必要であることは言うまでもありません。やはり、気持ちには気持ちで答えて結果を出すしかありません。今一番書店が求められていることは信用だと思っています。

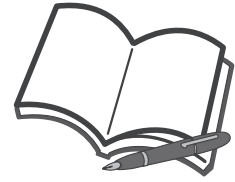
今後の青年部の課題についてですが、組織力の強化を重要視していま

す。青年部の活動を各理事が自店を経営しながら無理なく運営していくには、圧倒的に人数不足だと認識しています。組織力の問題が青年部の今一番の課題だと思います。以前組合の理事会でも青年部の活動をしていただける若手書店員の情報の提供をお願いしましたが、引き続き小さな事でもかまいません。また、情報をいただいた方にご迷惑をおかけしないよう青年部が直接出向いて交渉いたしますのでよろしく願います。

最後に書店を取り巻く環境が厳しいのは周知の事実ですが、特に志高くがんばっている街の書店に対しては、行政の評価も高まってきているような気がします。諦めずに粘り強く書店を維持していけばまだまだ可能性はあると信じています。今後とも青年部の活動にご理解とご協力をお願いします。



理事会 議事録



平成30年1月休会

平成30年2月理事会

2月2日(金) 14時30分より16時46分

報告事項

船坂理事長より以下の日書連報告があった。

①「書店経営の環境改善に向けた取り組み」については、出版社を10社ほど追加訪問する。2月～3月にかけて、実務者会議を発足させることになっているが、東京組合からは、矢幡常務理事に参加してもらう。

②万引防止出版対策本部と万防機構は合同で、「第12回全国小売業不明ロス・店舗セキュリティ実態調査」の用紙を送付した。該当書店は協力願いたい。
庶務報告 ①職員の補充に関して、事前に正副理事長会の承認を得て、柴崎王陽氏(35歳)が、1月4日(木)から職員として勤務を始めた旨の紹介が

あった。

一、総務・財務委員会

「承認」賃貸室の契約については、日書連及び内山書店とも、今回は据え置きとする。

二、組織委員会

「報告」賦課金の見直し問題については、現在チェーン店の加入促進につながる見直し案を作成中である。

三、事業・増売委員会

「承認」帝国書院「DOOR」を、組合増売商品とする。

「承認」Jリサーチ出版「特別報奨企画」4点を、組合増売商品とする。

「要請」2018年度「心のこる子ども」の本新学期・夏休みセールについて、希望者は申し込み願いたい。

「要請」日書連主催「第22回春の書店くじ」について支部会等で購入促進のPRをしてほしい。

「要請」神宮館「暦」希望者は申し込み願いたい。

④、指導・調査委員会

「報告」東京組合HPについては、12月理事会で基本デザイン(案)の承認を得ていたが、いくつか修正すべきところは修正し、6月スタートに向けて準備中である。

五、厚生・倫理委員会

「承認」互助会規約に基づく給付(12/1～1/31)について。

「報告」平成30年新年懇親会の出席者数は来賓が131名に対し組合員は70名であった、このまま組合員の出席数

が減少していくと新年会開催の是非に係ることになる。

六、共同受注・デジタル委員会

「報告」アンケート「TRCとの取引に関して」については、集計結果をもとに各支部から状況や交渉経過の説明があった。また、今後の対応についても活発に意見・情報の交換が行われた。

「報告」BOOKSMARTについては、運営会社が事業について調査・検討中である。

七、再販・発売日・取引改善委員会

「報告」(3/2)出版物小売業公正競争規約に関する説明会を、理事会終了後に開催した。

その他、諸報告があった。

出席理事24名、理事代理3名、監事1名

平成30年3月理事会

3月2日(金) 14時30分より16時50分

報告事項

以下の日書連報告があった。

①船坂理事長から文字・活字文化推進機構は安藤忠雄氏による「設立10周年記念講演会」を開催するので参加願いたい旨要請があった。

②船坂理事長から出版物の軽減税率適用問題については、何としても適用を目指していきたいと、政界等の動きについて現状報告があった。

③柴崎副理事長から、中小企業基盤整

備機構の「よろず支援拠点事業」について説明があった。

一、総務・財務委員会

「承認」日書連からの、「上野の森親子ブックフェスタ」協議委員の推薦依頼については、柴崎副理事長、渋谷常務理事及び台東区・明正堂木村社長の3人を推薦した。

「承認」日書連からの、「全国書店新聞」広報委員の推薦依頼については、渡部常務理事を推薦した。

「承認」理事1名支部の代理出席者について、次の通り届出があり、代理出席を認める。

板橋支部 小宮仁氏

二、組織委員会

「報告」2月8日に開催された第八回「書店大商談会」コミック分科会の状況について説明があった。

三、事業・増売委員会

「要請」読者謝恩図書カードの販売については、2月末日現在の販売枚数は1万5千541枚、残りは、1千459枚となっているので購入希望者は、早めに購入願いたい。

「報告」出版社広告入りポリ袋は、平成30年度も製作を予定している。

「報告」2月17日～2月18日に開催された築地本マルシェの当日の状況について。

四、厚生・倫理委員会

「承認」互助会規約に基づく給付(2/1～2/28)について。

五、共同受注・デジタル委員会

「報告」アンケート「TRCとの取引に関して」については、アンケート調査以降も情報の共有等を行っている。また、6月以降にTRCと図書納入全般について意見交換会を行いたいと考えている。

「報告」BOOKSMARTについては、運営会社が事業について調査・検討中である。

その他、諸報告があった。

出席理事18名、理事代理4名、監事2名

平成30年4月理事会

4月3日(火) 14時30分より16時50分

一、総務・財務委員会

「承認」日書連より、平成30年4月1日現在の組合員数(店数)の報告依頼が来ており、347店(前回370店)脱退23店+加入0店)で報告した。

二、事業・増売委員会

「報告」読者謝恩図書カードは、3月30日1万7千枚を完売した。購入協力方に対してお礼の挨拶があった。

「承認」河出書房新社「昨夜のカレー、明日のパン」(文庫既刊)を、特別増売企画として、全組合員へ1店につき5冊配本する。

「要請」「ささなみのよる」(4月18日発売予定)については、最低1冊の配本確約を得ているので、希望部数を記入

の上注文願いたい。

「報告」出版社広告入りポリ袋は、現在販売単価、製作枚数を検討している。

三、指導・調査委員会

「報告」3月の支部活動報告書の中で、中央エリア会が、楽天BOOKS担当者から「正味85で多少高いが、契約時の印紙代以外に費用はかからず、ヒット率も高い」と説明を受けた。

四、厚生・倫理委員会

「承認」互助会規約に基づく給付(3/13/31)について。

「承認」(5/22)ホテルメトロポリタンエンドモントで開催する第42回通常総代会の終了後、同ホテルの「薫風」にて開催する懇親会会費は、1人当たり6千円とする。

「報告」平成30年度支部功労者表彰の該当者は1名で、記念品については前年通りデパート商品券(5千円)とする。
「報告」「東京都青少年の健全な育成に関する条例のあらまし」が提示され、「自画撮り被害」防止の部分が新たに条例改正となった。書店店頭における区分陳列は従来通りである。

五、共同受注・デジタル委員会

「承認」組合が区立図書館等に図書類を納入するにあたって、中央区、港区、渋谷区、台東区、品川区、目黒区、世田谷区、中野区、杉並区、豊島区、練馬区、板橋区、北区、荒川区、墨田区、江東区、江戸川区と契約を締結し、担当した組合員へ配分する。

「要請」共同受注規約第4条に「見積価

額が3千万円を超える契約については、理事会に諮り決定するもの」となっている。見積価額が3千万円を超える契約をする場合は組合本部に連絡の上、承認を得て欲しい。

「報告」BOOKSMART電子サイト手数料収入の29年度決算見込みについて。

六、再販・発売日・取引改善委員会
「要請」付録問題や発売日違反等については、気になる事例があれば情報を寄せてほしいとの要請があった。

その他、組織委員会及び諸報告があった。

出席理事22名、理事代理2名、監事2名

平成30年4月臨時理事会

4月25日(水) 15時00分より17時20分

一、組織委員会

「報告」新規加入 港区赤坂2-10-14(株)ブックスフューチャー。

二、第42回通常総代会提出議案について

「承認」資料に基づいて審議した結果、以下が承認、可決決定した

①平成29年度事業報告承認の件

②平成29年度財産目録、貸借対照表及び損益計算書承認の件

③平成29年度剰余金処分案決定の件

④平成30年度事業計画決定の件

⑤平成30年度収支予算並びに経費の賦課及び徴収方法決定の件

⑥平成30年度における借入金残高の最

高限度決定の件

⑦役員報酬決定の件

⑧平成30年度加入金額決定の件

「非承認」資料に基づいて審議した結果、以下が非承認となった。

船坂理事長から、(株)フタバ図書ギガ椎名町店は、賦課金長期未納のため、除名にしてほしい旨当該支部から要請があったとの説明が行われた。このあと、除名の是非について協議した結果、当該書店とは現在連絡が取れていること。また、すでに閉店していることから、総代会提出議案とはしないこととした。

なお、場合によっては緊急動議等で対応することになった。

「報告」「通常総代会招集通知書」「通常総代会及び懇親会次第」「平成30年度被表彰者名簿」「総代会後の懇親会ご出席のお願い」について。

その他、諸報告があった。

出席理事18名、理事代理1名、監事1名

平成30年6月理事会

6月5日(火) 14時30分より16時50分

報告事項

以下の日書連報告があった。

船坂理事長から書店環境改善「実務者会議」が6月からスタートすることになった。東京組合からは矢幡常務理

事が参加する。
青年部から以下の報告があった。

田中青年部会長から書店再生委員会
〔平井理事〕が進めている「雑誌定期購
読・配達等の販売協力金についてのア
ンケートのお願い」が提示され、小学
館の2誌（週刊ポスト、女性セブン）
については、8/1から1年間販売協
力金支払いの確約を得ている旨説明が
あった。

〔承認〕なお、2誌以外についても、同
時に定期部数の調査（締切6月末日）
を行い、対象出版社を増やしていきたい
として協力要請があり、理事会はこ
れを了承した。

一、総務・財務委員会

〔承認〕恒例の第28回神保町ブックフェ
スティバルを後援する。

二、組織委員会

〔承認〕平成30年度賦課金納入に伴う
前納報奨金の支払いに関し、1年分納
入の場合は5月31日までの納入を対象
とし、料率は年額の2%とする。半年
分納入の場合は5月31日、10月31日ま
での納入を対象とし、料率は、半年額
の1%とする。

三、事業・増売委員会

〔承認〕暮しの手帖社「戦中・戦後の暮
しの記録」（新刊）及び「戦争中の暮し
の記録」（既刊）を、組合増売商品と
し、全組合員へ1店につき各3冊配本
する。

〔報告〕出版社広告入りポリ袋は、平成
30年度は組合員への販売価格を昨年よ

り安価（1枚@1円95銭税別）にして
の販売を予定している。

四、指導・調査委員会

〔報告〕第9回万引き追放SUMMERキ
ャンペーンが、（8/1）文京シビックホ
ールで開催される。

五、共同受注・デジタル委員会

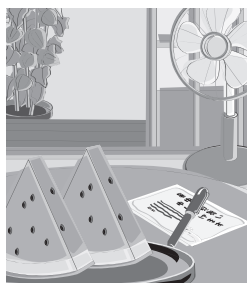
〔報告〕BOOKSMARTについては、日
本エンタープライズから解約通知書が
届いている旨、解約日は2018年7
月31日となっている旨説明があった。

六、再販・発売日・取引改善委員会
〔報告〕2018年度実施予定の平日休
配日（8月31日）は、実施を見送るこ
とになった。

〔要請〕発売日違反の事例があったら、
事務局に報告してほしい。

その他、厚生・倫理委員会他、諸報
告があった。

出席理事25名、理事代理3名、監事
1名



委員会発信



☆厚生委員会

☆互助会給付内容は左記の通りです。
（平成30年2月2日理事会〜6月5日理事会迄）

慶祝	傷病	死亡	喪葬
世田町	品目	目	地区
尾山台書店	尾山台書店	尾山台書店	尾山台書店
尾崎敏雄	尾崎敏雄	尾崎敏雄	尾崎敏雄
名義人	名義人	名義人	名義人

☆組織委員会

☆脱退者は左記の通りです。
（平成30年2月2日理事会〜6月5日理事会迄）

脱退	新規加入	区分
八王子	千代田	地区
八王子	千代田	地区
石森	佐藤直史	氏名
石森	佐藤直史	氏名
石森	佐藤直史	氏名

編集室



今回原稿を書くに当たって組合の歴史を少々調べさせてもらいました。結果を改めて1900字の短い文章にしてみると組合の（安定事業）と（合理化事業）こそが戦後日本の高度成長の源だったという確信めいた気持ち湧いてきます。今年、私の書店のバイトの若者に「我田引水」という言葉を知っているかどうか質問したところ、知っているのは5人の内1人だけでした。農耕民族の日本人にとって水は個人所有するものではなく、分け合うものだったはずですが、平成十一年に変わった法律ではあたかも狩猟民族の様に水を取られたら別の場所を探せと言われている様な気さえしてしまいます。この時代「護送船団方式」という言葉は「談合」の様に悪い意味で使われていましたが、時代の最先端googleやMicrosoft+Appleなどは典型的な護送船団方式なのではないか？これは「談合」でなく「話し合い」？知らぬは日本人だけ？

指導・調査委員 小川頼之

TOKYO書店人 第二三六号
企画・編集 指導・調査委員会
担当編集 小林洋
担当編集 渡部満
編集者 牛房邦夫
発行 東京都書店商業組合
電話 〇三（三三九）〇八五三
制作・印刷 ミツバ総合印刷株式会社
東京都千代田区神保町一五八



ヒマワリは、
小さな花の集まり
なんだって！



木星って、
巨大なガスの
かたまりなんだよ。



アゲハの幼虫は
さなぎになるまで
2000倍大きく
なるんだって！

先輩読者
芦田愛菜

学習図鑑
売り上げ
No.1
販売会社調べ

NEOは、ぜんぶ知っている。

最新の研究で日々変化する生きものの分類や情報。

NEOは今いちばん新しい知識と圧倒的な収録数で、子どもたちの好奇心に応えます。



NATURE EARTH ORIGIN

小学館の図鑑

NEO ネオ

待望の新刊登場！

【新刊】植物 DVD つき

【新刊】宇宙 DVD つき

イモムシとケムシ DVD つき



価格：(各) 本体2,000円 + 税

小学館

●くわしくは <https://www.shogakukan.co.jp/pr/neo/> ●愛読者サービスセンター TEL 03-5281-3555

大人気図鑑のポケット版！

ネオ
ぽけっと

NEO POCKET 危険生物

定価：本体950円 + 税

6月22日より発売！

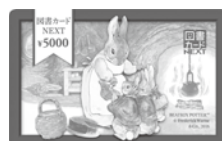


図書カードNEXTは 「本屋さんへの招待状」です。

図書カードは、書籍・雑誌の増売効果を促し、出版界に還元される「本の贈りもの」。出版界ならではの、販促&ノベルティツールです。会社でも、プライベートでも、贈りものの機会はきっとあるはず。日頃のギフトとしてご活用いただき、書店店頭にお客様を誘いましょう！

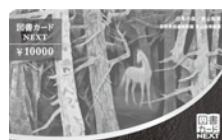
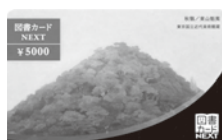
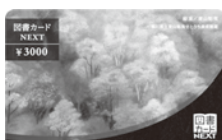


ピーターラビット™シリーズ

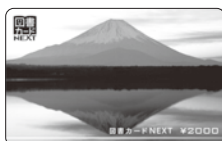


BEATRIX POTTER™ © Frederick Warne & Co., 2018

東山魁夷 シリーズ



富士山シリーズ



詳しい情報はこちらから
www.toshocard.com

